

◆ディスクユニオン神保町店が独自に作成したフリーペーパー◆

音読帖



vol. **75**

Disk review



細野晴臣「HOCHONO HOUSE」セルフリメイク

高橋幸宏が昨年末にリリースした1st「サラヴァー!」の全曲をバックトラックそのままにボーカルを新たに歌いなおした「Saravah Saravah!」に続き、細野晴臣の1st「HOCHONO HOUSE」を一人宅録で全曲リメイクした「HOCHONO HOUSE」が3/6に発売! 共にジャケットデザインから素晴らしく、LPで購入しました!

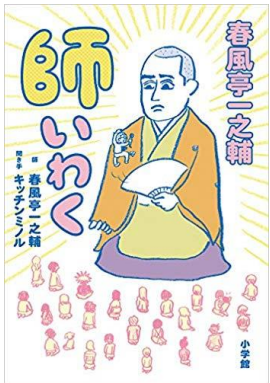
多岐にわたるジャンルを横断してきて引き出しも豊富な細野さんが、ただそのまま「HOCHONO HOUSE」をやるのでは思えず、実際に聴くまでどんな形

になるか楽しみでしたが、本人も気軽に出来ると思ったら大変な作業になり後悔したとライナーに書かれているとおり、1曲1曲丁寧に再構築され、ライプの最後にサブライズとして1曲演奏された嬉しさが11曲続くような気持ちになりました。

曲順がまったく逆というのも、これは企画盤として聴いてほしくないというこだわりがある気がします。

今月末には大滝詠一の初となるライブ盤が発売。今年には日本のロックファンにとってたまらない年になる予感です。

▼HOCHONO HOUSE／細野晴臣／ビクターエンタテインメント／VICL-650086／3,240円(税込) (篠木)



不惑四十歳! 一之輔のユルフワなお悩み相談!

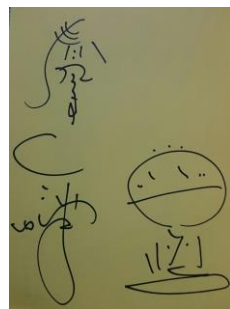
2012年に21人抜きのお披露目で真打昇進した春風亭一之輔師匠。若手噺家では一番人気、NHK「落語ティーパー!」でもお馴染みですね。

小学館のウエブマガジンで連載中の『師いらく』不惑一之輔の「話だけは聴きます!」が待望の書籍化です!

悩み事って本人にとっては非常に超重要案件でありナーバス案件ですが、他人からすると「な〜んだそんなこと!」と気が抜けてしまうようなお悩みも中にはありますよね。。。

そんな悩み事に一之輔師匠がユルフワと答えてくれます。一見テキストでナゲヤリと思えるようなお答えでも最後には「なるほど!良いこと言いわ、師匠!」と気分がスカっとするような金言もあります。カメラマンでもある聞き手のキッチンミノルさんとのやり取り、居酒屋やファミレスで飲み食いしながらワイワイ楽しそうです。編集の高成さんも。

読むだけで心が軽くなる一冊です! いまなら春風亭一之輔師匠のサイン本を販売中です! (数に限りがありますのでお問い合わせください)



▼師いらく／春風亭一之輔・キッチンミノル／小学館／1,500円+税 (仲)

音盤コラム

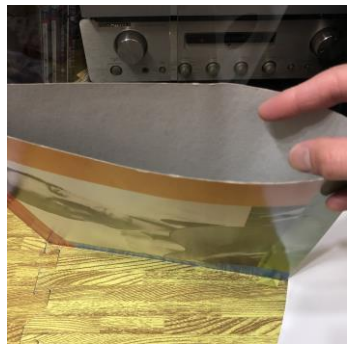
SURFACE NOISEに首ったけ No.37

「やってしまった!」
はるばるフランスから届いたレコードがリプロ盤だと判明した時のショックったら、ブラジル盤はリプロが多い聞いていたが、実際に自分で買って身になるって本当ですね。モノラル盤のほすが、なぜかステレオであったり。心なしか印刷が粗かったり。60年代の紙質じゃない。とか、やはり人間

は失敗を通して学ぶと改めて感じてます。

そんな、レコードの写真をたっぷり、





今年は暖冬と言われつつも、なんだかんだで冬は寒い。そして花粉の到来という毎年のパターン。皆さま、どうかご自愛ください。

(暴れはっちゃく超太郎)

わが父と音楽のはなし

亡き父のお話です。

ジャズ好きの父、民謡好きの祖父と、私の音楽好きは遺伝かもしれません。幼い頃、てんとう虫のターンテーブルで民謡のドーナツ盤を聞き、中学生になり父に買って貰ったAIWAのラジカセで父に頼まれてベニー・グッドマンやグリーン・ミラーなどをエアチェックしたりしてました。

父は仕事リタイア後、クラシッ

クもよく聴いていたようで、いったか「シヨスタコーピチのジャズ組曲っていう曲が聴きたい」と言うので図書館で借りてきてあげたこともありました。



実家の父の部屋のCD棚にはい

わゆるクラシック名曲集的なCDが並んでいました。「パパにはマラーは難しくてわからないよ」チャイコフスキーやモーツアルトの音楽を聴きながら絵手紙を描いたりする父の姿は、長年大きなトラックの運転手をやっていた父からは想像もできず、ちょっと微笑ましくも思えました。絵や音楽が好き、見かけによらずロマンチックな所があった父でした。季節ごとに送られてくる絵手紙はいつも「体に気を付けて」と締め括られていました。

ジャズも好きで、葬儀の時には

鈴木章治の「鈴懸の径」をかけたもらいました。

悲しげなクラリネットのメロディが流れる中、皆で父を見送りました。

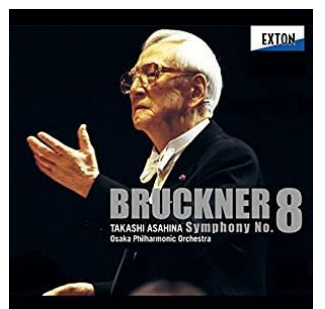


父の机を整理していると、小さなメモ帳があり、開いてみると

びっしりと読みたい本、気になる本のリストが書き込んでありました。その中に本のタイトルにまじり「ブルックナー8番」「ドボルザーク チェロ協奏曲」と書いてありました。

はたして父はこの2曲を聴いたのかはわかりません。

「パパにはブルックナーは難しくわからないよ」と言ったかも知れないけど、チェロ協奏曲は気に入ったかもしれませぬ。



音楽屋の娘としては父とクラシックの話がしてみたかったなと思います。

桜の開花を待たずに父は71年の人生を終えました。天国では朝比奈先生のブル8を聴いているかもしれないね。(仲)



(※ナカさんの寄席日記はお休ませてくださいました。)

連載コラム

インダストリアル・ノイズに

ついての考察

《総括・インダストリアル・ノイズの可能性》

この連載の最初に述べたことを繰り返していると、ノイズとは悍猛な自然、大地の姿そのものです。ここでいう大地とはパタイユにおける世界の深奥であり、酒井健におけるフォオルスのことだとひとまずとらえて良いでしょう。芸術がもし人間にとっての現実を肯定するための儀式的行為であり、そして現実がフォオルスによって突き動かされているものなのだとすれば、音楽の中にもまたフォオルスの力に従う要素がなければなりません。

音楽の歴史を紐解いてみると、時として各々のジャンルの中にある一致が見られることがわかってきます。ざっくりとした説明にはなりますが、今回論じてきたロックという文脈以外にも、クラシックにおいても、ジャズにおいてもピュイサンズの力が覇権を握り、フォオルスがそれに対して意義申し立てをする、という流れが存在します。前者においては例えばルッ

ソロの騒音芸術であり、ジャズにおいてはフリー・ジャズやスピリチュアルの流れがそれに相当するでしょう。いずれもフォルスを何と捉えるかという観点においてはかなり差がありますが、ピュイサンスによる介入が激しくなり、音楽の形が凝り固まってしまったことに對するアンチ・テーゼとして台頭してくるところは共通しています。

ピュイサンスの力は人間が生活を営む上で必要な能力であることは大前提ですが、それによって捉えられない領域があることも事実です。その領域にも同時に棹差しながら生活を営むのが人間という存在ならば、フォルスの側に立つことも時としては必要となるでしょう。ノイズは一見すると音楽的な喜びを排除しているように思われがちですが、決してそうではありません。TGをはじめとするアーティスト達は、そもそも事実として暴力的、流動的な力に突き動かされる人間の在り方を肯定しようとして

いるのです。 — 完 —
(篠崎奏平)

2月の神保町店 新譜販売トップ3!

注目の神保町ランキング2月のトップ3は：

【第一位】キイチビール&ザ・ホーリーティッツ「今夜浮かれたい／こーかい」



【第二位】レコードコレクターズ増刊「レコード・コレクターズ紳士録 2」



【第三位】ムーンライダーズ「moon riders Final Banquet」

t 2016「最後の饗宴」



買取関連情報!

CD DVD | ブルーレイ | 音楽本
買取査定
20% UP
キャンペーン
10点以上で通常査定に20%プラスで買取!
ポイントでさらに
ボーナス付!
まとめて50枚毎に5,000円増量!
100枚以上 10,000円増量 250枚以上 15,000円増量
CD買取 **10% UP** キャンペーン
2019.3.16 ~ 4.8

■春・夏・買取ボーナスプラスキャンペーン

開催期間：3/16(土)～4/8(月)まで

期間中ディスクユニオン全店でCD・DVD・ブルーレイ・音楽本を10点以上まとめてお売りいただく、通常の査定額20%UPにプラス、さらに通常査定額100円以上のアイテム50枚ごとに、5,000円のボ

ーナスを加算してお支払いただきます。

○ボーナス金額注意事項

※同一商品が複数枚あった場合は1タイトルとしてカウントさせていただきます。

※宅配買取は期間中に到着のみ有効です。他のキャンペーンとの併用は出来ません。

※送料無料サービスは、CD・DVD・ブルーレイ・音楽本・レコード合わせて10点以上からとなります

※アナログ盤レコードはボーナスプラスキャンペーンの対象外となります。

※詳しくは店頭またはブログにてご確認ください。

★この機会に大量のご売却ご検討ください!

■同時開催
レコード買取10%UP!

期間中ディスクユニオン全店でアナログ盤レコードを10点以上まとめてお売りいただく、通常の査定額に10%UPでお支払いたします。

CD・レコードの中古買取は52年の査定実績、安心・信頼のデ

ィスクユニオンへお任せください。

ディスクユニオン神保町店
買取センター

フリーダイヤル

0120-071-660

編集後記

2月のDIVE INTO MUSIC イベントでは音楽史研究家の郡修彦さんをお招きして蓄音器コンサートを開催しました。珍しい蓄音器の実演、皆さん興味深げに聴いていらっしゃいました。2月は落語会や文楽など鑑賞しました。壇浦兜軍記の阿古屋は歌舞伎とはまた違う魅力があると思いました。義太夫もカッコ良かったです! 3月いよいよ春ですね、三寒四温、お体には十分お気を付けて下さいね。ではまた来月!

音読帖 第七十五刊

発行日 二〇一九年三月十日

編集・発行元 ディスクユニオン神保町店

このフリーペーパーに関するお問い合わせはこちらまで。

disg@diskunion.co.jp

本誌記載内容の無断転載は固くお断りします。